



こそだ おおこくもがみまち
 ～子育て大国最上町～

もがみまちこそだ けんしょう
 「最上町子育て憲章」



こ えがお かぞく えがお
 子どもの笑顔は家族の笑顔

かぞく えがお ちいき えがお
 家族の笑顔は地域の笑顔

ちいき えがお
 地域に笑顔があふれるとき

ちょうみん
 町民みんなに

しあわ ひろ
 幸せが広がります。

れいわ ねん がつ か せいてい
 令和4年6月9日制定

も がみ まち
 最上町



🍷🍷🍷🍷🍷でおぼえてね!



かい せつ
解 説

「子どものちかい」では、小さい子から18歳（成人前）までの子どもたちが覚えやすい「ちかい」になるように、「🍷🍷🍷🍷🍷」から始まるメッセージを5つの項目に、「大人の誓い」では、子どものちかいに沿って、大人が努力すべきことを5つの項目にしています。それぞれの項目について、行動目標やメッセージの意味などを解説させていただきます。

また、小・中学生との意見交換会の中で出された意見も取り入れ、子どもと大人が同じ方向を目指し、将来にわたって「最上町子育て憲章」を心に刻んでいただくとともに、一人ひとりが自分で出来ることを実践していただくことを願いながら、憲章への理解を深めていただきたいと思います。

こ ども の ち かい

お と な ち か
大 人 の 誓 い

1. 守ります! 🍷 最上の自然と文化

地元の歴史や文化を学び、「ふるさと最上」を受け継ぎます

／ 歴史や文化、郷土を愛する心を伝えます

最上町の自然を思い浮かべるとき、山の緑と季節の移り変わりで変化する木々の彩り、降雪は多くても、雪解け水が流れ込む小国川が育む鮎やイワナの味とアスパラガスや山菜の美味しさなど、一言では言い表せないほどの豊かさがあります。

また、最上の文化として地域ごとに受け継がれてきた祭りや太鼓、田植え踊りや御柴灯だけでなく、近年の新たな取り組みとして、最上産の木材を使用した楽器作りや灯々祭など、後世に繋げたい新しい文化も生まれてきています。

「温故知新」の言葉のとおり、古き良き伝統と新しい伝統を生み出す力、さらには、環境にも配慮したゼロカーボンを意識した「ふるさと最上」を子どもたちにも引き継いでいけるよう、多世代間の交流を大切にしていきます。



2. 大事にします！ **か** 学校の学びと地域の学び

いろいろな経験を楽しみながら未来に向かって進みます

／ 子どもの心に寄り添い、子どもが希望を持てる環境を整えます

子どもたちの学びの場にICTが導入され、これまでとは違った形での学習が始まろうとしています。教室だけでなく戸外にも持ち出せるICTで、現地に出向いて気になったことを調べたり、思い思いの形で気付きを表現できるようになるでしょう。

大人は、子どもたちが自由に安心して、楽しく学び続け、無限大の可能性を引き出せるよう、地域の安全確保と環境整備に努めます。また、地域の文化・伝統・芸術・食文化など幅広い学びを大切にしてほしいという思いが受け継がれるよう、子どもたちに伝えていきます。



3. 力を合わせます！ **み** みんなと一緒に

いじめや差別をなくし、命を大切にします

／ 個性と人権を尊重し、子どもの命を守ります

自分の命、他人の命はもちろん、生き物・植物すべての命をむやみに傷つけることは、決してしてはいけないことです。子どもがすべての命を大切にし、勇気を持っていじめや差別をなくそうとする気持ちで生活できるように、周りの大人は子どもの命を大切にし、守り育てます。



4. 忘れません！ つね 常に感謝の気持ち

まわ ひと かんしゃ おも やさ きも せつ
周りの人に感謝し、思いやりと優しい気持ちで接します

とも
／ 共にルールとマナーの大切さを学び、思いやりの心を育みます

じぶん まわ ひと まいにちくち た もの つく だ せいさんしゃ
自分がかかわる周りの人だけでなく、毎日口にする食べ物やそれを作り出す生産者への
かんしゃ きも わす
感謝の気持ちも忘れずに、いつも「ありがとう」の気持ちを持って生活します。

こ ども よい こと 悪い こと まわ おとな すがた こうどう み がくしゅう
子どもは良いことも悪いことも、周りの大人の姿や行動を見て学習しています。

こ おや おとな かがみ おとな こうどう げんどう てほん せいちょう
「子は親（大人）の鏡」というように、大人の行動や言動を手本に成長していること
わす とき こ いっしょ しゃかい かんが じかん もう
を忘れずに、時には子どもと一緒に社会のルールとマナーについて考える時間を設けた
り、大人自身が生き生きと生活する姿を見せながら、相手を思いやる心の成長を育み
ます。



5. 伝えます！ こ 「ことば」で自分の思いを

えがお げんき ことば こうどう つた
笑顔で元気にあいさつし、言葉と行動で伝えます

あか か えがお ちいきしゃかい つく
／ 明るくあいさつを交わし、笑顔あふれる地域社会を作ります

「ことば」には、声に出して思いを伝える言葉もあれば、指文字を使う手話もあり、小さい子どもたちでも身振り手振りで心の声を届けています。言葉にならない「ことば」でも目を見て通じ合うこともあれば、気持ちがこもっていない言葉はいくら耳を傾けても、心に届かないこともあります。

子どもも大人も、一人ひとりがそれぞれの方法で自分の思いを伝え、気持ちを通わせ合うことが出来れば、自然に笑顔があふれ、みんなが安心して過ごせる最上町になると信じます。



発行：最上町 / 編集：最上町教育委員会子ども支援課

〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町 644 番地 TEL0233-43-2247

